

手続きの簡易化について(概要)

資料1-2

目的

公共施設の老朽化に伴う建替えや集約のニーズが高まるなか、長期的な視点で財政支出の削減を図るため、施設整備に加え維持管理・運營業務を一体として実施するPFIの導入について検討を行う必要性が高まっている。これを踏まえPFI導入促進を目的として、手続き期間短縮及び事務負担の軽減を図る方策を示すため、ガイドラインの改正及び手続き簡易化マニュアルの作成を行う。

対象事業

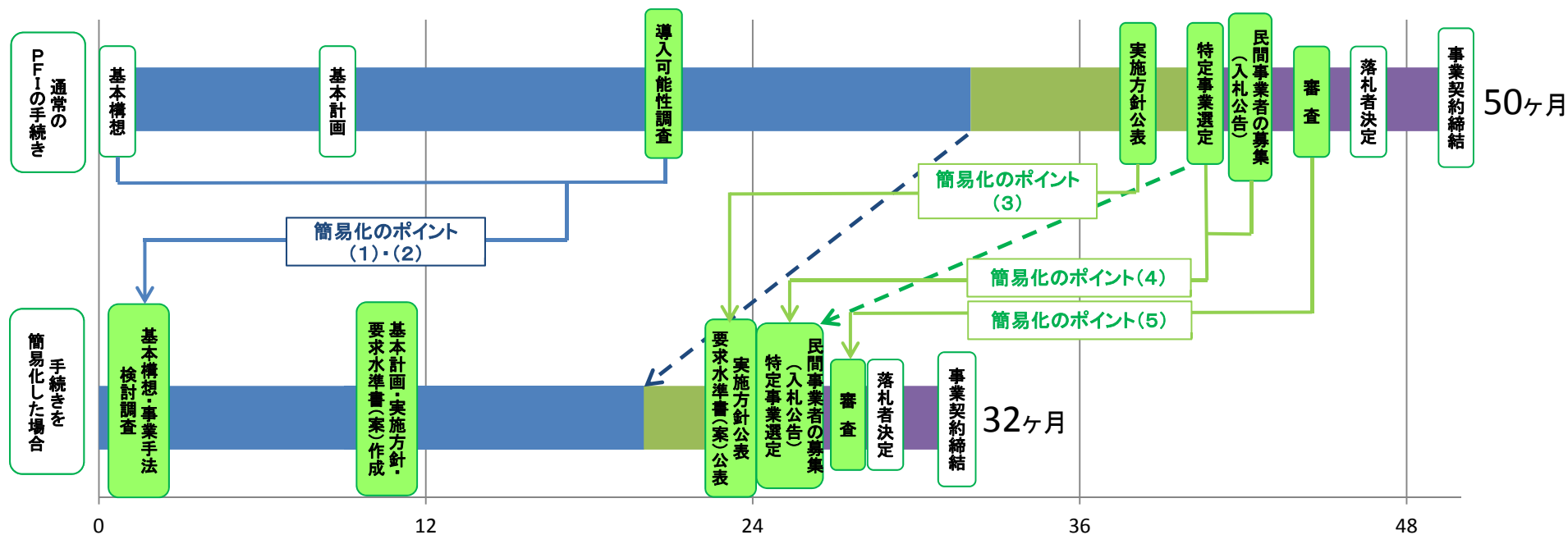
過去のサービス購入型PFI事業において同種事業の実績が数多く存在する事業のうち、以下のいずれかに該当する事業

- ・施設整備業務の比重の大きい事業
- ・維持管理・運營業務の内容が定型的な事業

例) 事務庁舎、宿舎、公営住宅、学校(校舎)、学校給食センターなど
(複合施設もあり得る)

簡易化のポイント

- (1) 基本構想/基本計画と事業手法検討調査業務の一括実施
- (2) 効率的なタイミング及び方法によるVFMの算出
- (3) 実施方針公表後の質問回答の省略
- (4) 特定事業の選定と民間事業者の募集開始(入札公告)の同時実施
- (5) 審査委員会の効率的な開催
- (6) 業務負担軽減のため、標準契約や各種書類の作成素材を作成



手続きの期間短縮イメージ

所要月数